

授業科目名 <英訳>		医療社会学・基礎 Medical Sociology			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 岩隈 美穂				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2015・ 前期集中	曜時限	前期後半 火5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
<p>コースの概要</p> <p>医療社会学とは「健康・病気と保健・医療に関わる世界の問題を、行動や生活、家族や集団、地域や社会、文化などに関する社会学の理論と方法を用いて解明する学問分野」崎喜比古（編）、2001、「健康と医療の社会学」まえがき より）</p> <p>このクラスの射程として、社会学はもちろんだが人類学、コミュニケーション学、歴史、哲学、倫理学なども含む予定で、「人文学・社会科学」から医学を考える。</p>											
<b>[到達目標]</b>											
<p>学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること）</p> <p>医療社会学とは何か、を説明できる。</p> <p>医療社会学の概念、理論、方法論を理解する。</p> <p>自分の興味のある研究テーマにひきつけて医療社会学を考えることができる。</p> <p>「人文学・社会科学」からの医療・医学への視点や語彙を提供し、履修者たちの描く「理想の医療」への改革へのヒントにすることができる。</p>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
<p>1 6/16 イントロダクション</p> <p>2 6/23 医療社会学の基礎</p> <p>3 6/30 ジェロントロジー（同志社大学 関根千佳氏）</p> <p>4 7/7 産業技術政策からみた医療用機械と健康ICT（京都大学 塩瀬隆之氏）</p> <p>5 7/14 癒しの社会学（飛騨千光寺 大下大圓氏）</p> <p>6 7/21 人文・社会科学的医学とは</p> <p>7 7/28 講義まとめ</p>											
<b>[履修要件]</b>											
特になし											
<b>[成績評価の方法・観点及び達成度]</b>											
<p>出席 25%</p> <p>授業参加度 25%</p> <p>レポート 50%</p> <p>タイトル 15% + 最終版 35%</p>											
医療社会学・基礎(2)へ続く↓↓↓											

## 医療社会学・基礎(2)

### [教科書]

ハンドアウトを配布する

### [参考書等]

(参考書)

### [授業外学習（予習・復習）等]

各自の興味関心に関連した医療社会学のリーディングを読むことを薦める

### (その他（オフィスアワー等）)

「授業参加・貢献」を重視しているため、自発的発言を求める。  
医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。  
障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮（Accommodation）が必要な場合、早めに相談に来ること。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 10名まで可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。